乗鞍岳火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定－火山噴火時の土砂災害を軽減のために－

国土交通省
北陸地方整備局
松本砂防事務所

北陸地方整備局及び長野県、岐阜県では、乗鞍岳火山噴火に伴い想定される土砂災害の被害軽減を目的として、ハード対策とソフト対策からなる緊急対策を迅速かつ効果的に実施する方針をまとめた「乗鞍岳火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定しました。

○緊急対策の考え方

- 噴火に伴う土砂移動現象から、流動深50cm以上と想定される保全対象への被害をできる限り軽減（減災）することを基本方針とする。
- 限られた時間と資機材を用いて、緊急ハード・ソフト対策を組み合わせて柔軟に対応する。また、計画は理想形であり、対策着手しても100%守れるわけではないことに留意する。
- 緊急時の対応の実効性向上に向けて、平常時からの準備（資機材の備蓄、情報伝達・共有手段の確認、訓練など）を実施する。

○対策の実施機関：長野県、岐阜県**※要請があれば国土交通省も支援**

乗鞍岳の想定火口付近（剣ヶ峰）南西方向より撮影

乗鞍岳火山噴火緊急減災対策砂防計画（概要）

噴火発生前

ソフト対策

① 火山防災協議会作成のハザードマップを参考とし、降灰後の土石流と融雪型火山泥流による想定被害箇所を把握
② 緊急減災対策砂防計画として監視体制の構築
③ 実践的な火山防災計画策定のための防災訓練を実施。

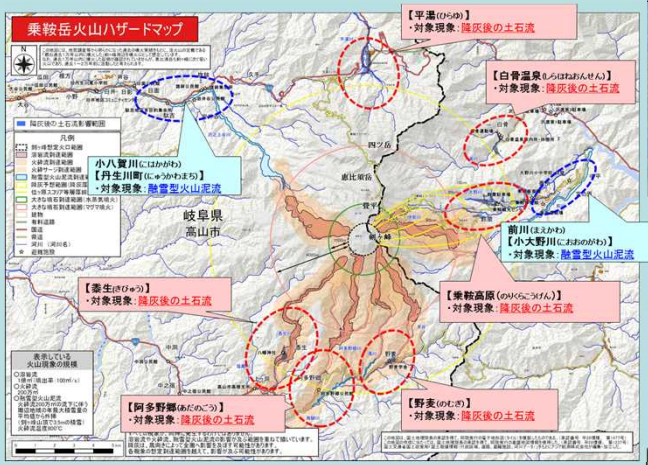
噴火発生後

緊急調査
降灰量調査、リアルタイムハザードマップ作成

ハード対策
仮設堰堤、仮設導流堤などの整備

ソフト対策
リアルタイムハザードマップ
（噴火現象にあわせたハザードマップ）の活用

乗鞍岳における緊急対策実施箇所（案）

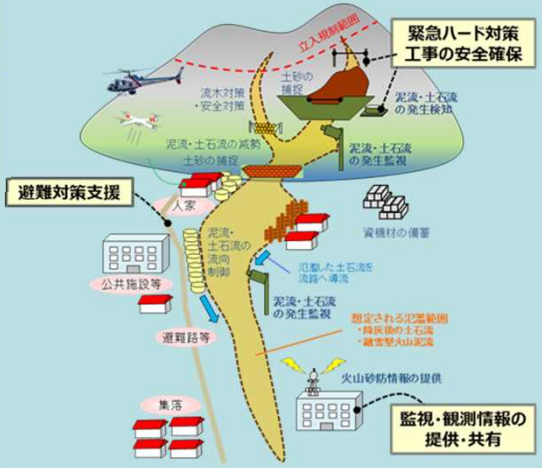


対策とする土砂移動現象

降灰後の土石流

融雪型火山泥流

乗鞍岳における緊急対策のイメージ



乗鞍岳における緊急ハード対策の工種例

柔構造物工

仮設堰堤工

仮設導流堤工

仮設防護柵工